

# 補足説明書

C79412000

本書では、StandbyDiskを使用する前の大切な情報や、StandbyDiskに添付のマニュアル（PDFファイル）についての補足事項などを記載しています。StandbyDiskを使用する前に、必ず本書の内容をお読みください。

## マニュアルの見方

本書では、「オンラインマニュアル」の補足事項を記載しています。StandbyDiskの詳しい使用方法是、「オンラインマニュアル（PDFファイル）」をお読みください。「オンラインマニュアル」は、次の場所から見るすることができます。

[スタート] - 「(すべての)プログラム」 - 「StandbyDisk 2000-XP」 - 「オンラインマニュアル」をクリック

「オンラインマニュアル」をお読みになる前に、次の事項をご確認ください。

StandbyDiskを使用する前に、「オンラインマニュアル」 - p.8「ライセンス契約書」を必ずお読みください。

「オンラインマニュアル」に、モバイルラックについての記載がありますが、弊社では取り扱っておりませんので、あらかじめご了承ください。

HDDが故障してWindowsが起動しなくなったなど、万一の場合に備え、「オンラインマニュアル」 - p.59「ハードディスクドライブクラッシュから復元する」、p.63「ドライブ構成を修正する」をお読みになり、あらかじめ対処方法をご確認ください。

## StandbyDiskの概要

StandbyDiskとは、オリジナルドライブ（Windowsやアプリケーションなどを保存するHDD）のバックアップを、バックアップドライブ（バックアップ専用HDD）に作成するソフトウェアです。本書および「オンラインマニュアル」では、オリジナルドライブおよびバックアップドライブを次のように記載します。

オリジナルドライブ : ソースドライブ

バックアップドライブ : DPSR<sup>\*</sup>ドライブ

<sup>\*</sup>Data Protection/System Recovery（データ保護/システム回復）

ソースドライブのすべてのデータをDPSRドライブにバックアップすることで、万一、ソースドライブから起動しなくなった場合でも、DPSRドライブから起動するように設定すれば、即時復旧が可能です。Windowsやアプリケーションなどの再インストールは必要なくなります。

StandbyDisk の主な機能は、次のとおりです。

- ・ ソースドライブの全データを、DPSR ドライブにバックアップする。
- ・ DPSR ドライブの全データを、ソースドライブに復元する。
- ・ バックアップ・復元を、ファイル・フォルダ単位で行う。
- ・ スケジュールを設定して、定期的にバックアップする。

万一、ソースドライブから起動しなくなった場合に備え、ソースドライブは定期的にバックアップしましょう。



制限

ソースドライブにウイルスが感染した場合は、ソースドライブのバックアップは行わないでください。DPSR ドライブにも感染してしまいます。万一、ウイルスに感染した場合は、必ずシステムからウイルスを除去したあとに、ソースドライブのバックアップを行ってください。

StandbyDiskを使用しても、作業状況によっては、データを完全にバックアップすることはできません（例えば、HDDが故障してしまうと、最後のバックアップから故障までに作成したデータがバックアップされていないなど）。大切なデータは、別のメディアなどにもバックアップしておいてください。

## HDDの設定

購入時には、StandbyDisk はあらかじめインストールされています。HDD の設定を行うと StandbyDisk を使用できます。HDD の設定は、コンピュータに装着されている 2 台の HDD を、ソースドライブ、DPSR ドライブとして設定します。

### HDD の設定 状態

購入時の 2 台目の HDD は、あらかじめ未設定領域になっています。2 台目の HDD は未設定領域のまま HDD の設定を行います。

HDD の設定を行うと、1 台目の HDD（Windows やアプリケーションが登録されている）と 2 台目の HDD（未設定領域）は、それぞれソースドライブ、DPSR ドライブとして設定されます。

「コンピュータに添付されている『ユーザーズマニュアル』や『HDD2 台装着モデルをお使いの方へ』の記載内容と一部異なります。



制限

2 台目の HDD は、HDD 領域にパーティションなどを作成してしまうと、DPSR ドライブに設定することができません。

2 台目の HDD は、DPSR ドライブに設定すると、Windows 上からは見えなくなります。

## 設定方法

HDD の設定は、StandbyDisk の「設定ウィザード」で行います。下記手順は、1 台目の HDD をソースドライブ、2 台目の HDD を DPSR ドライブに設定し、その後、ソースドライブのすべてのデータを DPSR ドライブにバックアップする方法です。そのほかの設定についての詳細は、「オンラインマニュアル」 - p.21 「第 3 章 構成」をお読みください。

- 1 [スタート]-「(すべての)プログラム」-「StandbyDisk 2000-XP」-「設定ウィザード」をクリックします。
- 2 「設定ウィザードへようこそ」と表示されたら、[次へ]をクリックします。
- 3 「ソースディスク」と表示されたら、[次へ]をクリックします。
- 4 「DPSR ディスク」と表示されたら、[次へ]をクリックします。
- 5 「ソースディスクのパーティション」と表示されたら、表示されたパーティションすべてにチェックを付けて、[次へ]をクリックします。
- 6 「設定詳細」一覧が表示され、ソースドライブと DPSR ドライブの容量が表示されます。[完了]をクリックします。
- 7 「警告」画面が表示されたら、[OK]をクリックします。
- 8 「選択されているディスクの完全バックアップを開始しますか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。  
ソースドライブのすべてのデータが、DPSR ドライブにバックアップされます。この作業には、しばらく時間がかかります。
- 9 「設定ウィザード」画面内のメッセージが表示されている部分に、「設定タスクが全部完了しました。」と表示されたら、[完了]をクリックします。これで、HDD の設定は終了です。  
「スケジュールウィザードを自動実行する」にチェックが付いていると、[完了]をクリック後に、「スケジュールウィザードへようこそ」と表示されます。スケジュールを設定して、定期的なバックアップを行う場合は、画面の指示に従って設定してください。



### 参考

スケジュールを設定してバックアップするときは


バックアップ作業は、コンピュータに負荷がかかります。スケジュールは、コンピュータ上で何も作業していない状態(アイドル状態)に合わせて設定することをおすすめします。


## ソースドライブから起動しなくなった場合は

万一、ソースドライブから起動しなくなった場合は、応急処置として「BIOS Setup ユーティリティ」の次の項目の設定値を変更してください。ソースドライブを認識させないようにして、DPSR ドライブから起動することができます。

項目 : 「Main」メニュー画面 - 「Primary Master」 - 「Type」  
変更後の設定値 : None (初期値は「Auto」)

ただし、DPSR ドライブから起動しているため、StandbyDisk によるバックアップ作業はできません。早急に新しいドライブなどを取り付け、HDD の設定をし直してください。

 p.59 「ハードディスクドライブクラッシュから復元する」

 p.63 「ドライブ構成を修正する」

HDD の交換、増設ができない機種をお使いの場合は、販売店、サービスセンターまでご連絡ください。HDD の増設、交換が可能かどうかは、コンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』 - 「システムの拡張」 - 「拡張できる装置」で確認できます。

## StandbyDisk を再インストールするときは

StandbyDisk を再インストールするときは、シリアル番号が必要です。シリアル番号は、StandbyDisk の CD-ROM が収納されている紙ケースに記載されています (12桁の番号)。再インストール中にシリアル番号を要求されたら、記載されている12桁の番号を入力してください。

## サポートのご案内

StandbyDisk に関するお問い合わせは、(株) ネットジャパンへご連絡ください。

	営業的なお問い合わせ	テクニカルサポート
窓口	(株) ネットジャパン 営業部	(株) ネットジャパン カスタマーサービス部
電話	03-3864-5212	03-3864-5266
FAX	03-3864-5211	03-3864-5244
E メール	sbd@netjapan.co.jp	sbd-support@netjapan.co.jp
営業時間	9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 17:50 (土日祝日は除く)	10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 (土日祝日は除く)



**r100**

古紙配合率100%再生紙を使用しています。



大豆油インキを使用しています。

02.11.25 (EP)